

● ご自由にお持ちください ●

花と緑の情報をお届けします。

2005
autumn

29

Green Sketch

グリーンスケッチ

秋、澄んだ風に染められて

木々を鮮やかに彩る紅や黄色とどこまでも高く晴れ渡る空。吹き抜ける涼やかな風が葉に色をつけていくよう。

- 01 役立つポイントアドバイス
花と緑のお悩み相談室
- 02 特集
私たちの花で公園に彩りを!!
- 03 植物に親しむ
ミニ盆栽を楽しもう!!
- 04 県内のイベント情報が満載
花と緑のイベント情報
- 05 緑花センターからのお知らせ
緑花センター掲示板
- 06 にいがた四季の散歩道
蛭野地区のイチヨウ「村松町」
- 07 みなさんからの声を紹介
読者の広場
- 08 TOPICS
写真コンテスト入賞作品決定!!



にいがた「緑」の百年物語に参加しています。



新潟県都市緑花センター

目次

役立つポイントアドバイス	
花と緑のお悩み相談室	01
特集 地域のかで快適な都市環境を	
私たちの花で公園に彩りを!!	02
植物に親しむ	
ミニ盆栽を楽しもう!!	06
県内のイベント情報が満載	
花と緑のイベント情報	07
緑花センターからのお知らせ	
緑花センター掲示板	08
にいがた四季の散歩道	
蛭野地区のイチヨウ [村松町]	09
みなさんからの声を紹介	
読者の広場	09
TOPICS	
写真コンテスト入賞作品決定!!	10

花と緑の

お悩み相談室

Q 庭や公園で見かける地植えのハギは大株に育っていて見事ですが、鉢植えなどで小さめに仕立てて楽しむことはできますか？

A ハギは生育が旺盛で、冬に地上部が枯れてしまうものの、翌年さらに大きな株へと生長します。

鉢で育てることもでき、地植えより小ぢんまりとした姿になります。苗が出回るのは秋ごろです。生育期の水切れによる葉枯れを防ぐため、あらかじめ大きめの鉢(7~10号)に植えつけるとよいでしょう。苗の根を崩さないように植え、若い苗は根が細いのでその冬は乾きすぎないように注意し、また、凍らない場所に置きます。

小さくおさえるには(庭植え、鉢植えとも)...

夏剪定 ● 新しい枝が50cmほどになったころ(6月初旬まで)に、地際から15cmくらいに刈り込みます。切った枝は挿し木に利用できます。

冬剪定 ● 落葉後、枯れた地上部を地際から20cmくらいに刈り込みます。



大株となったハギ



特集

私

私たちの花で 公園に 彩りを!!

地域力で快適な都市環境を
〜県立紫雲寺記念公園〜

これまでの特集などで、公園がさまざまな役割(*1)を持って整備されていることに触れました。

なかでも近年は、余暇活用や地域コミュニティの場として公園を活用することが、全国的に強く求められています。新潟県でも、「公園を育てる」(*2)ことに地域の力を借りる動きが各地で見られるようになりました。公園と地域とのかわりは、今後ますます強くなると考えられます。

今年度の特集では、公園を舞台に、地域のみなさんがかわって行う環境づくりの取り組みを紹介しています。

今号では、県立紫雲寺記念公園で行われる住民参加型活動を紹介します。

現在、紫雲寺記念公園では、地域のみなさんの参加による活動を年に3回行っています。活動の内容は、公園事務所前の花壇を季節の花で彩るというもので、平成14年の秋から始まりました。この活動は、地域のみなさんと、旧紫雲寺町のNPO「花ふやし隊」のみなさん、公園管理者(緑花センター)が協働して行っています。



*1公園には、環境悪化の防止、安全なまちづくり、憩いの場の提供、レクリエーション機能などの役割があります。

*2「新潟県の都市公園のあり方」(平成16年3月/新潟県)では、これからの公園施策として「公園を育てる」ことに視点が置かれています。

パークウェイ

公園を訪れる人を四季折々の表情で出迎える。春はチューリップが若々しい緑と引き立てあう。





「チューリップ植えてみ隊」次の春のための球根植え。冬のあいだも咲き続けるパンジーと一緒に植え付ける。

参加者 インタビュー



お話をうかがった中澤さん。

紫雲寺記念公園の住民参加型活動にいつもご家族で参加くださっている、中澤さんにお話を聞きました。

この活動に参加したきっかけは？

中澤さん／旧紫雲寺町の広報で知りました。そして、小学校の学年行事として、親子でこの活動に参加することになりました。



開花中は、植えた方の名前入りラベルを設置する。

地元の藤塚小学校が行事としてみなさんに知らせてくださったのです。では、このような活動に参加することはどのように役立つと思いますか？

中澤さん／最近の子どもたちは土をさわる、植物を育てるなどの機会が少ないので、このような活動に参加して(土いじりを)体験することは良い経験になると感じています。また、身近な公園なので、自分の植えた球根や花がどのように育っていくかを観察できるので、植物や公園に愛着を持つことができていると思います。他の参加者のみなさんと会話しながら作業をするので、子どもたちも楽しいといってくれています。自宅の花壇の担当は私ですが、この活動には一緒に参加してくれれます。自分の植えた球根や花に愛着や責任を感じているのではないのでしょうか。
なるほど。自分たちで植えた植物がどうなったか、気になるますよね。

NPO「花ふやし隊」 について

花をふやす活動や環境美化活動を通して心とむ美しいふるさとづくりに寄与し、自らの心も豊かにする」という方針のもと、5年前に設立。旧紫雲寺町在住のみなさんで構成されており、現在50名の隊員が活動しています。

国道113号の分離帯や紫雲寺中学校、紫雲寺小学校の花壇管理、加治川桜堤の植栽、治水記念公園の除草など、幅広く活動を行っています。植栽につかう花苗を地域の農家で栽培したり、地域のイベントに農産物をつかった料理などを出品したり、この地域をフィールドに活躍中の団体です。

紫雲寺記念公園の花壇管理の活動では、当初から一緒に作業を行ってもらっています。この活動について、現在の隊長である小林さんは、「地域子どもたちと一緒に活動できるのは良いこと。活気づきますね。」と話してくださいました。

中澤さん／私自身も、これまで我流で球根の植え付けを行ってきましたが、活動に参加して初めて正しい球根の植え方を学びました。さまざまな球根や花の種類があることも知ることができました。

作業や同時に行われている講習会を通じて、参加者のみなさんが何かを得ていたけるといいですね。こちらにも、みなさんから得ていることがたくさんあります。ともに活動することで、お互いに与えあえることは喜ばしいことですね。

さて、この公園で行っている活動は、現在公園事務所前の花壇だけですが、他の部分ではどんな活動ができそうですか？

中澤さん／この公園にはさまざまな施設がありますが、地元住民でありながら利用したことのない部分があります。たとえば、オートキャンプ場などは利用する機会がないので…。そのような場所で活動できれば、

県外からも多くの方が訪れるオートキャンプ場。
夕焼けの美しさに思わず息をのむ。



と思います。海辺の散策道の松葉払いのあと、施設をつかってバーベキュー、などはいかがでしょうか。
地元ゆえに利用しない施設もあるでしょうか？地域のみなさんに公園を広く知って、親しんでもらうには、そんなイベントも良いかもしれません。
では最後に、紫雲寺記念公園に何かご要望があればお聞かせください。
中澤さん／地元住民だけでなく、他の地域の方々にも利用していただけるような、緑あふれる憩いの場所であってほしいです。また、いろいろなイベントの情報を周辺の教育機関に積極的に広報してください。
中澤さん、ありがとうございました。
当センターは今後も地域の自慢になるような良い公園づくりを目指すとともに、多くの方々に楽しんでいただけるイベントを企画していきます。ぜひ参加してくださいね!!

今後の展開

公園をもっと活用しよう!!

当初、一般参加者10名、「花ふやし隊」18名でスタートした紫雲寺記念公園の住民参加活動は、4回目の秋をむかえ、定着したイベントとなりつつあります(*)。この活動を通して、公園管理者である私たちは、地域の力が公園を魅力あるものに育てるということを改めて感じています。しかし、中澤さんがインタビューで話してくださいましたように、地域のみなさんに、この広い公園の全部が把握されていない現状もあります。公園と地域の連携はまだ始まったばかりです。海あり、森林ありのこの公園には、活用の要素がまだまだたくさんあるのです。公園のいろいろな部分にかかわっていただくことで、この公園が目指す、地域との結びつきをよりいっそう強めることができると考えています。

* 最高時70名を上回るみなさんの参加をいただいています。

当センターは、できるだけ多くのみなさんに公園を活用していただけるように、スミからスミまで知ってもらうための情報提供や活動プログラムづくりなどの運営を充実させていきたいと考えています。
公園は、共有のものであり、緑や花は、地域や人々の結びつきに大きな効果を持っています。
したがって、公園におけるさまざまな活動は、公園の魅力を高めるとともに、人を育て、地域を育てることにつながることを期待されています。
ともに学び、ともに育つ。そんな活動に、みなさんも参加してみませんか？



緑花講習会の様子。



現在行っている活動について、詳しくは、当センターホームページをご覧ください。
また、公園についてのみなさまの貴重なご意見をお待ちしております。綴じ込みのハガキ、ホームページ内アンケートフォーム、Eメール等でお寄せください。

e-mail ● center@greenery-niigata.or.jp

U R L ● <http://www.greenery-niigata.or.jp>

ミニ盆栽を楽しもう!!

盆栽ってちょっとかたくなるしい? 「和」のイメージ?
ミニ盆栽ならどんな場所、シーンにもしっくりします。
どこにでも飾れることや、作業も省スペースで行えることから、
手軽に楽しめる趣味として幅広い層に人気があります。

ミニ盆栽って?

盆栽のなかでも、近年手のひらに乗るほどの大きさのものを小品盆栽といい、ミニ盆栽と呼ばれているものはこれに当たります。選ぶ植物により、カジュアルにもなります。

Let's try!

つくってみよう!

配置の基本

植物は、奇数にするとバランスよく仕上がります。
今回は、1種類だけをつかいます。1種類の場合は、基本は鉢のまんなか、枝の流れを楽しむ場合は鉢のズミに配置します。

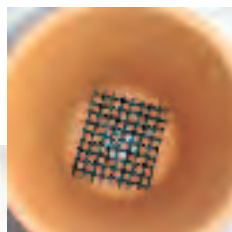
準備するもの

- 植物(ヤブコウジ) ● コケ(ヤマコケ)
- 鉢 ● 野草土 ● ムソウ
- 針金 ● 鉢底網

ムソウ
ケト土の一種で繊維質のもの



野草土
赤玉細粒、鹿沼土、軽石を
1:1:1で配合したもの

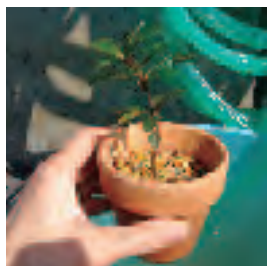


鉢底網を入れ、野草土を
すこし入れます。

2



根を傷つけないように、苗の土をていねいに落とします。



3

鉢に植物を入れ、野草土を入れます。水を通して根のすき間にも土を入れるようにします。

4



ムソウをのせ、その上を完全にコケで覆います。ムソウを厚くすると通気が悪くなるので注意。コケは浮いていると枯れてしまうので針金でとめます。



リボンや
オーナメントで
季節を
演出できます。

5 完成!

管理

- **水やり**：コケの表面が乾いたら水を与えてください。常に土が湿っている状態は避けましょう。
- **おき場所**：室内に置きっぱなしにすると、光不足による軟弱化、ほこりがたまることによる呼吸困難、カビの発生を引き起こします。日光や外気に当てるようにしましょう。直射日光に当てることや地面にじかに置くことは避けてください。

- **病気や虫**：春から秋は病気や虫が発生しやすいので盆栽をよく観察し、葉の裏に虫がいないか、葉の変色がないかなどをこまめにチェックします。
- **剪定**：全体のバランスを考えてカットします。
- **植え替え**：3月ごろ(新芽が動く前)に鉢からはずし、根を切りつめます。元の鉢か、すこし大きめの鉢に植えたあと、安定しないようであれば鉢に縛り固定します(1~2年に1度)。

種から育てた苗や、挿し木の苗(挿し木の適期は5~6月)をつかうと、愛着もひとしお。ぜひ挑戦してみてください!!

花と緑のイベント情報

県内で開催されるイベントをご紹介します

- 新潟 石油の里もみじまつり**
10月29日(土)～11月23日(水・祝) (予定)
新潟市●石油の里
新潟市新津支所 農・産業振興課
0250-24-2111 (代)
- 新潟 新津菊まつり**
11月1日(火)～11月15日(火)
新潟市●堀出神社
新潟市新津支所 農・産業振興課
0250-24-2111 (代)
- 新潟 新潟菊まつり**
11月11日(金)～11月23日(水・祝)
新潟市●万代シティパーク
新潟菊花会事務局 025-246-6424
- 新潟 寒梅の里・小須戸寒梅まつり**
12月9日(金)～12月25日(日)
新潟市小須戸●花と緑のシンボルゾーン
新潟市小須戸支所 産業課
0250-38-3111 (代)
- 弥彦 弥彦菊まつり**
11月1日(火)～11月24日(木)
弥彦村●弥彦神社
弥彦観光協会 0256-94-3154

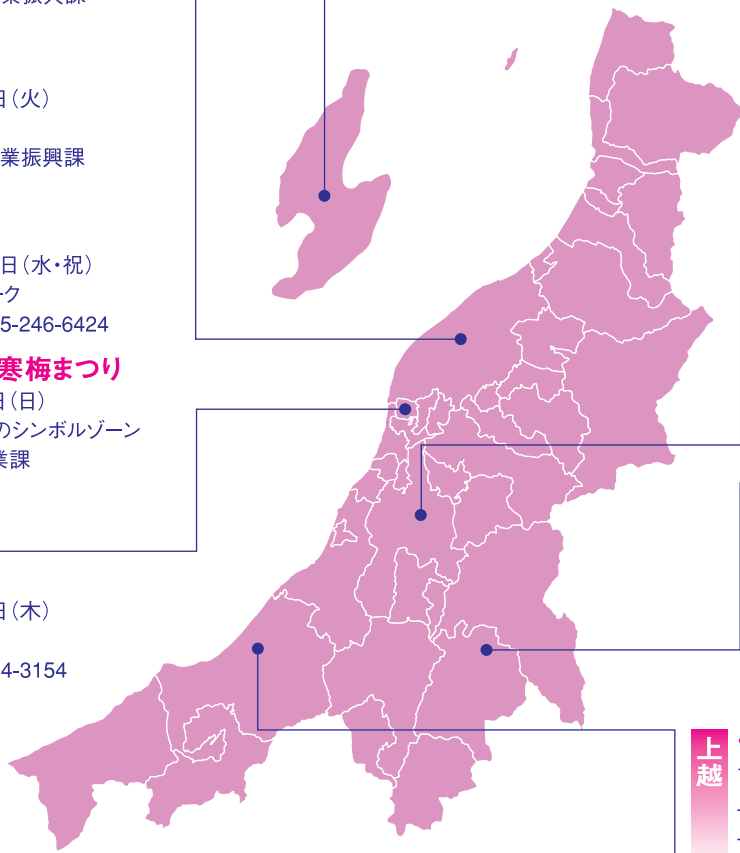
- 佐渡 紅葉山まつり**
10月30日(日)
モミジ見頃:10月中旬～11月上旬
佐渡市畑野地区●紅葉山公園
佐渡市畑野支所 地域振興課
0259-66-3111 (代)

- 佐渡 佐渡菊花展・金井温泉菊まつり**
11月3日(木・祝)～11月6日(日)
佐渡市金井地区●金井温泉体育館
佐渡市金井地区 商工観光課
0259-63-5116

- 長岡 もみじ園ライトアップ**
11月1日(火)～11月下旬(予定)
モミジ見頃:11月上旬～11月中旬
長岡市●もみじ園
長岡市越路支所 産業課
0258-92-5903

- 南魚沼 魚沼菊花展・浦佐菊まつり**
10月31日(月)～11月10日(木)
南魚沼市●普光寺
大和町観光協会
025-777-3054

- 上越 くびき野ドーンと菊まつり(仮称)**
11月3日(木・祝)～10日(木)
上越市●高田公園
上越市役所 観光振興課
025-526-5111 (代)



新潟県立植物園

観賞温室「花と緑のステージ」展示

植物怪異伝展

9月13日(火)～11月13日(日)

伝説や伝承に登場する不思議な植物の現象や奇形、妖怪や変化する植物を紹介します。



クリスマス展

11月15日(火)～12月25日(日)

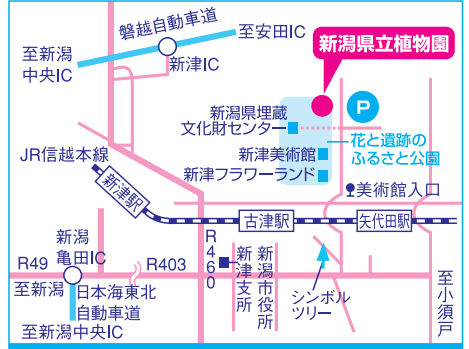
12月23日(金・祝)、24日(土)はクリスマス夜間開園を行います。

特別展示

大文字草展

10月4日(火)～11月13日(日)

観賞温室内(有料エリア)で展示します。



磐越自動車道●新津I.Cから国道460号(新津東バイパス)、国道403号経由で約20分
日本海東北自動車道●新潟亀田I.Cから約20分
<駐車場無料>
JR●信越本線古津駅から徒歩約20分
バス●新津美術館入口下車 徒歩約10分

お問い合わせは
新潟県立植物園 Tel.0250-24-6465 新潟市金津186
e-mail●botanical@greenery-niigata.or.jp

観賞温室利用案内 ●入館時間/9:30～16:30(入館締切り16:00)
●入館料/大人600円 小中学生300円(土・日・祝日は小中学生無料)
●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

●日程等は変更になる場合がありますので、詳しくは各お問い合わせ先にご確認ください。
●緑や花に関するイベント情報をTEL・FAX・メールにてどしどしお寄せください。

このコーナーでは、緑花センターの事業紹介や緑花センターが管理運営している県立公園等の情報をお届けします。

緑花センターの助成事業

『まちなか緑花推進助成事業』『花と緑のアドバイザー派遣制度』
平成17年度申請団体を募集中!!

まちなか緑花推進助成事業

まちなかで行われる緑化活動に対し助成する制度です。

【対象団体】

ボランティア団体、企業、民間団体、学校など

【対象施設】

まちなか(可住地域)の民有地

【対象経費】

樹木・花苗の購入費(支柱・肥料等資材購入費を含む)
※総額10万円以上であること。

【助成割合】

樹木:民有地の場合3/4以内、民有地でパートナーシップ型(※)の活動の場合8/10以内、公用地の場合1/2以内、花苗:4/10以内

【助成限度額】

50万円(パートナーシップ型は75万円)

※パートナーシップ型:団体と民有地のフィールド提供者などが協働で実施する活動。



花と緑のアドバイザー派遣制度

各種団体が開催する講習会等に講師を派遣し、その費用を助成する制度です。

【対象団体】

新潟県、市町村、学校、団体等

【対象経費】

講習会などへの講師の派遣にかかる費用

現在、この2つの事業の申請窓口は、社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会です。

申請、お問い合わせは、下記までお願いいたします。

■お問い合わせ先

社団法人 **にいがた緑の百年物語緑化推進委員会**

〒950-0965 新潟市新光町7-2 新潟県商工会館5F TEL.025-290-8055 FAX.025-290-8051
ホームページ <http://www.midori100.com> メール info@midori100.com

県立鳥屋野潟公園(新潟県スポーツ公園)

平成17年10月23日(日)

ゴミのない、きれいな公園をめざして

県民のみなさまとともに、公園の環境美化活動「スポーツ公園一斉清掃」を行いました。

当日は、あいにくの悪天候。冷たい雨が激しく吹きつけるなか、27名のみなさんが集まってくださいました。1時間半かけて園内全域のゴミ拾いを行いました。みなさんの「はじめてボランティアに参加したけど楽しかった」「また参加したい」という声を聞いたことは大きな収穫です。

『ゴミを捨てない、捨てさせない環境づくり』を合言葉に、公園を利用する誰もがその心を持っていただけるまで、この活動を続けたいと考えています。



このゴミはほんの一部です!!



植物クイズ

秋の七草(七種)には、草だけでなく木が含まれています。

次のうちどれでしょう?

- ①ススキ ②オミナエシ ③ハギ

【28号植物クイズ当選者発表】

正解は①サンショウでした。②アオジソ、③ドクダミも日本のハーブで、それぞれ食用、薬用にされます。当選者は以下の方々です。おめでとうございます。

- ◎中村文弘さん(新潟市) ◎羽賀喜七さん(三条市) ◎三浦秋子さん(村上市) ◎小林ミナ子さん(三条市) ◎金子タマさん(糸魚川市)

- 答えを綴じ込みのアンケートハガキにご記入ください。
- 正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。
- クイズの〆切は12月31日(必着)です
- クイズの答えと当選者は次号(1月発行予定)に掲載します。

四季の散歩道【巨木・名木編】

「Green Sketch」秋・冬号では、当センターが行った調査(*)をもとに、新潟県内各地の名木・巨木・樹林地を紹介していきます。

※平成13年度に、県内市町村に協力をいただいて行った調査。調査対象は、「未来に残したい樹木」「地域で愛されている樹木」で、国、県、市町村の文化財指定を受けていないもの。

蛭野地区のイチヨウ「村松町」

この地区を訪れると、家々の敷地内にイチヨウが点々と植えられていることが分かります。このイチヨウは、すべて実(ぎんなん)をつける雌の木。村松町蛭野(ひるの)はぎんなんの産地です。地区内に樹齢百年を上回るイチヨウが二百本以上あり、秋になれば、その先にそびえる白山(二〇二m)のすそを黄金色にいろどります。

街路のイチヨウの葉が散り始めたころ出かけていくと、「ちょうど見頃」というところでしょうか。黄葉はまちなかよりやや遅いようで、十二月中旬、毎日掃いても落ちてく



る庭先のそうじはたいへんですが、落葉して地面に敷きつめられた葉は、黄色のじゅうたんのようなようです。その色や、足元に落ちた実の独特なおいも、地域の人々に季節を告げるものなかもしれません。

■イチヨウ(イチヨウ科落葉高木)

中国原産で古い時代に渡来。街路樹などに用いられるほか、寺社の境内などによく見られる。雄木と雌木があり、雌木になる実は食用(ぎんなん)。花は春に咲き、小さく目立たない。秋に美しく黄葉する。

読者の広場



Green Sketch

先

日、主人の実家からブナの木を譲り受けました。地震により新築することになったのが理由です。約3メートルほどのブナの木は、一本あるだけでも存在感は大きく、この夏はこの緑の葉にすいふんと癒されています。大切に育てようと思っています。

- 8月1日アンケート八ガキより
- 魚沼市 大桃香代子さん

前

ブナの木はちゃんと根付きましたか。夏の暑い日は、木々の緑が涼しく見え、心とみずすね。

号26号)の「植物に親しむ」を初めて知りました。今はお花屋さんでも小さな花束がいろいろと並んでいて選ぶのが楽しいですが、自分でも庭のハーブでつくってみようと思いました。※タッシーマジック/手のひらサイズの小さな花束のこと

- 8月10日アンケート八ガキより
- 新潟市 奥田果さん

前

前号では「香りの植物を楽しむ」ということでハーブを使ったミニブーケづくりを紹介しました。ミニブーケはつくってみましたか。今度はぜひ、つくったものの写真を送っていただけませんか。

第2回都市公園・植物園写真コンテスト 入賞作品決定!!

～たくさんのご応募ありがとうございました!～

公園の風景や植物の新鮮な表情をとらえた作品がたくさん寄せられました。
応募総数152点のなかから、受賞されたのは以下の方々です。おめでとうございます!!

風景部門

【新潟県知事賞】

『楽しみにしていた日』白石 正夫さん(新潟市)

【理事長賞】

『スワンの輝き』藤井 隆至さん(新潟市)

【フジカラー賞】

『至福の時』各務 和子さん(新潟市)

【特別賞】

『親子で川遊び』松沢 淳一さん(村松町)

『柳都に生きる』長谷川 精二さん(新潟市)

【入選】

『満開の鳥屋野潟』中原 一磨さん(新潟市)

『夏空の下で』松原 浩さん(長岡市)

『雪だるま博士の深遠なる植物学講義』竹田 利行さん(新潟市)

『さわやかな春』渡辺 繁信さん(上越市)

『朝散歩』後藤 ユキさん(新潟市)

『お花見』櫻井 精治さん(新潟市)

審査は、新潟県写真家協会副会長の
上山益男さん、コンテストの実行
委員会により行われました。



花と緑部門

【新潟県知事賞】

『睡蓮』佐々木 壽英さん(新潟市)

【理事長賞】

『ちよっとひとやすみ』ハンナ ビンガムさん(新潟市)

【フジカラー賞】

『花話う』金魏さん(新潟市)

【特別賞】

『雪に咲く』井田 潔さん(新潟市)

『水辺に浮かぶ』坂井 富雄さん(新潟市)

【入選】

『アガパンサスの花』中川 一郎さん(新潟市)

『雨あがり』阿部 信一さん(新潟市)

『あじさい咲く頃』松沢 淳一さん(村松町)

『紫陽花の花咲く頃』長ヶ部 清春さん(上越市)

『花鏡』横山 宏文さん(五泉市)

『ちいさな生命』斉藤 要子さん(五泉市)

カメラのレンズを通すと公園や植物は違った表情を見せてくれます。みなさんも、四季により変化するさまざまな姿をとらえてみてはいかがでしょうか?

入賞者の作品は下記にて展示します。ぜひご覧ください。

■ 11月1日(火)～27日(日) 県立鳥屋野潟公園 新潟県スポーツ公園レストハウス

■ 12月6日(火)～25日(日) 新潟県立植物園 観賞温室第3室2階

どちらも無料でご覧いただけます。

おたより募集!

「Green Sketch」では読者のみなさまから花や緑に関するおたよりを募集しています。字数は300字以内なら何字でも構いません。ご自慢のお写真の投稿も大歓迎!!住所、氏名、電話番号を明記の上、右記までお寄せください。掲載にあたり趣旨は変えませんが若干の手直しをさせていただくことがあります。また、原稿・写真の返却、採否のお答えはいたしませんのであらかじめご了承ください。なお、掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!!とどしお寄せください。

細川さんのお庭はにぎやかそうではないですね。秋はどんな植物があるのでしょうか。またおたよりお待ちしております。

● 8月24日アンケートハガキより
● 新潟市 細川彩子さん

緑 は大好きなので、庭を大切にしています。今はミトマト、枝豆、ピーマン、シシトウがなっていて、食べるのが楽しみな毎日です。お花も植えて、毎日元気をもらっています。前号の表紙の緑と水の映っている写真は、見ただけで心がすっとしますね。

今年度の特集は「地域ので快適な都市環境を」をテーマとしています。この特集を読んで、みなさんの地域の公園づくりに役立ててもらえたらと思います。また、みなさんの近くにあった公園があれば、ぜひ紹介してください。

● 8月18日アンケートハガキより
● 新潟市 菊池智さん

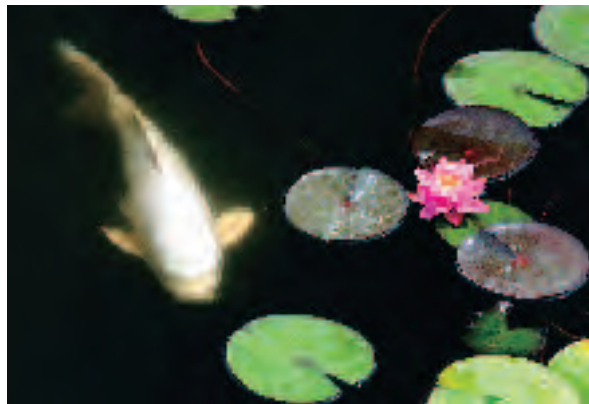
前 号の特集(「地域が誇る、個性ある公園づくり」見附市 柳橋千刈街区公園)を読んで、地域に合った公園づくりは、とてもよい考えだと思えました。地域の特性が活かされ、地域住民の宝物ですね。

「グリーンスケッチ」は、県民のみなさんとともに花と緑を育て、私たちが暮らすまちのなかの緑を守り、さらに緑と花を増やしていくための情報誌です。

都市緑化についてのご意見、みなさんのお住まいの地域にある自慢の花や緑の空間、花や緑の活動を行っている人や団体などの情報を緑花センターまでお寄せください。



第2回都市公園・植物園写真コンテスト【風景部門】
新潟県知事賞作品 「楽しみにしていた日」 白石 正夫さん



第2回都市公園・植物園写真コンテスト【花と緑部門】
新潟県知事賞作品 「睡蓮」 佐々木 壽英さん

グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、主な図書館、病院などで配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡ください。

財団法人 新潟県都市緑花センター

〒950-0933 新潟市清五郎58番地
TEL 025-257-8711 FAX 025-257-8766
E-mail center@greenery-niigata.or.jp
URL http://www.greenery-niigata.or.jp



登録範囲は、事務局、鳥屋野湖公園事務所、紫雲寺記念公園事務所、県立植物園です。

寄付のお願い

**財団の公益事業は
基金の運用果実により行われます**

当センターは県・市町村及び県民のみなさまからいただいた寄付金より基金を造成しており、その基金を安全・確実な方法で運用した運用益(果実)により緑花の推進事業を行っています。

寄付のお問い合わせ先

(財)新潟県都市緑花センター 総務課宛
TEL025-257-8711



編集後記

空気が冷たくなってきて、冬が近づいていますね。春の花壇の準備がすんだら、冬のあいだ部屋のなかで一緒に過ごす緑や花の用意も忘れずに!!